

1 命長ければ恥多し。長くとも四十に足らぬほどにて死なむこそ、めやすかるべけれ。(徒然草)

- ①目安となる ②見苦しくない ③いさぎよい ④ふさわしい

1 「」

2 上達部・上人などもあいなく目をそばめつつ、いとまばゆき人の御おぼえなり。(源氏物語)

- ①言葉にできない ②近づけない ③信じられない ④見ていられない

い

2 「」

3 愚かにつたなき人も、家に生まれ、時にあへば、高き位にのぼり、奢りを極むるもあり。(徒然草)

- ①見苦しい ②なにもない ③劣っている ④下品な

3 「」

4 鶴は、いとこちたきさまなれど、鳴く声、雲居まで聞こゆる、いとめでたし。(枕草子)

- ①珍しい ②苦々しい ③仰々しい ④神々しい

4 「」

5 はづかしき人の、歌の本末問ひたるに、ふとおぼえたる、我ながらうれし。(枕草子)

- ①神聖な ②立派な ③気の毒な ④高貴な

5 「」

6 下衆の家の女主人。痴れたる者。それしもさかしうて、まことにさかしき人を教へなどすかし。(枕草子)

- ①風流な ②かしこい ③すばらしい ④高貴な

6 「」

7 なほしるべせよ。我はずきしき心などなき人ぞ。(源氏物語)

- ①風流めいた ②好色めいた ③興ざめな ④不純な

7 「」

8 祭のころは、なべていまめかしう見ゆるにやあらむ。(堤中納言物語)

- ①楽しく ②今風に ③いまいまして ④華やかに

8 「」

9 よろしき男を、下衆女などのほめて、「いみじうなつかしうおはします」など言へば、やがて思ひおとされぬべし。(枕草子)

- ①みずみずしく ②ふさわしく ③好ましく ④頼もしく

9 「」

10 君は、思し怠る時の間もなく、心苦しくも恋しくも思し出づ。(源氏物語)

- ①はかなく ②気の毒に ③さびしく ④おそれ多く

10 「」

1 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1 解

② ③ ④ ② ② ② ③ ③ ④ ②

答